

## 「わたしが父の元から遣わす助け主」

(エゼキエル書36章24節～28節)

「あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい靈を与える。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。わたしの靈をあなたがたのうちに授け、わたしのおきてに従って歩ませ、わたしの定めを守り行わせる。」(36:26, 27)

(ヨハネの福音書15章18節～27節)

「わたしが父のもとから遣わす助け主、すなわち、父から出る真理の御靈が来るとき、その方がわたしについて証ししてくださいます。」(26)

### 今日のメッセージ要旨

◎私達はどれほど神さまに対し、不従順、背信を繰り返すことでしょうか？しかし、そのような私達のために神様は何をしようとしておられるのでしょうか？

◎エゼキエル書36章は「イスラエルの回復と靈的再生」の預言です。ご自分の民の背信、諸国民から受けた屈辱はどれ程だったことでしょうか。それに対する主のご忍耐はいかばかりだったでしょうか。彼らは捕囚になっても、その行いを悔い改めなかつのです。それでも彼らの故国について預言をし、そこを再び永遠にイスラエル人の住居とする、と主は言われるのです(1-15)。イスラエルを諸国民の間から連れ出して再び集めることによって、民と一体であることを証明され、更に、主はイスラエルをきよめ(24)、彼らに「新しい心」と「新しい靈」、「わたしの靈」を授け、全く新しく造り変えてくださる御方であられるのです(26-27)。

イスラエルはただ主の恵みを戴くだけなのです。憐れみを受けた者は、自分の過ちを悔い改めるようになるからです(31-32)。

◎ヨハネの福音書15章は主イエス様が最後の晚餐の席上で語られた訣別説教の一部です。その中心的主題は地上に残された弟子たちの不安を取り除くことなのです。そのために、①主イエスが再来されること、②聖靈の到来、③この世が与えるのとは性格を異なる平安の実現、が約束されています。

◎主イエス様は「世がわたしを憎んだ」事、それは「わたしの父をも憎んでいる」と語られ、しかも、この世は「ほかの誰も行ったことのないわざを行われた主イエス様を拒み、また主イエス様を遣わされた「父をも見て」、その上で「憎む」のです。それこそ「罪」なのです。更にそれと同様に「世から選び出された」弟子たちも同じ「世から憎まれる」、それは主イエス様を憎むことに繋がります。私たちの苦しみを共に担って下さる主イエス様の姿が拝せられます。

◎主イエス様は「父のもとから聖靈を遣わす」と約束されたのです。それは「助け主」であり、「真理の御靈」であり、「御靈がわたし（主イエス）について証しする」のです。14章を見ますと「わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもう一人の助け主をお与えになります」と約束されたのです(16)。

◎「人々はあなたがたを会堂から追放するでしょう。事実、あなたがたを殺す者がみな、そうすることで自分は神に奉仕しているのだと思う時が来ます」と語られ、弟子たちも迫害を受けることを予告されました。しかし、その中においても弟子たちは、聖靈の助けにより証しをなし、キリストによって勝利が与えられる、との約束がなされているのです。

◎助け主は、主の臨在を弟子たちにもたらし、まるでイエス様がともにおられるような安心を与えて下さるのです(14-15)。また彼らを「すべての真理に導いてくださる」のです(13)。そればかりか彼らから福音を聞いた人々の心を照らし、信仰に導いてくださるのもこの御方であられるのです(8-11)。

◎私たちは、①私たちを選んで下さった主イエスにいつも結ばれ続ける者でありたい。②聖靈に導かれ、祈りをもって神様に近づく者でありたい。③主イエス様が私たちを愛して下さったように、私たちも互いに愛し合う者でありたい。